

本格的な冬の到来を感じさせる今日この頃です。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年最後の 12 月号では、報告が 2 点とお知らせが 1 点ございます。

#### 報告(1)：2017 年度秋の研修会

2017 年度『初夏の研修会』は、10 月 29 日（日）に 3 名の講師をお招きし、首都大学東京（南大沢キャンパス）にて開催され、51 名が参加しました。講演していただいたのは、以下の方々です。

講演 1 須田孝司氏（静岡県立大学）

「日本人英語学習者の文処理方略について」

講演 2 清水崇文氏（上智大学）

「中間言語語用論：L2 口頭運用能力の解明を目指して」

講演 3 庵功雄氏（一橋大学）

「言語間の類似と相違を捉えるための機能主義的観点一場所を表す『に』と『で』、限定詞『この』と『その』を例に一」

#### 報告(2)：2017 年度第 2 回総会

「秋の研修会」にて 2017 年度第 2 回総会が開催され、審議の結果、以下の事項が承認されました。

##### (1) 2016 年度決算報告

(2) 会則の改正：事務局が来年度より変更になることに伴い、小川睦美 新会計が管理しやすいよう事務局だけでなく郵便局の通帳の住所も移します。

##### (3) 新運営委員の選出

###### 1. 副会長、事務局、会計、学会誌編集委員会委員長

副会長に鈴木孝明氏、事務局に若林茂則氏、会計に小川睦美氏、学会誌編集委員会委員長に大滝宏一氏、梅田真理氏の両名が決定しました。

###### 2. その他の運営委員

検討後に個々人に依頼をして選出した後、次回年次大会の総会にて承認を受ける予定です。

##### (4) 日本第二言語習得学会委員会設置規則

##### (5) 2018 年度の行事

1. 年次大会 6 月 16（土）、17 日（日）学習院大学

2. 秋の研修会 10 月 28 日（日）同志社大学

3. 学会誌投稿 9 月 30 日締め切り後、編集スタート

**お知らせ：2018 年度 J-SLA 年次大会**

日時： 2018 年 6 月 16 日（土）・6 月 17 日（日）

場所： 学習院大学 (<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/access.html>)

基調講演： : Dr. Leah Roberts (University of York)

年次大会での研究発表を募集しております。

発表形式：「口頭発表」または「ポスター発表」および「学生ワークショップにおける口頭発表」

研究領域：第二言語習得の理論的・実証的研究

発表言語：日本語または英語

締め切り：2018 年 2 月 28 日（水）

なお、研究発表募集の詳細については、J-SLA ホームページ：<http://www.j-sla.org/>より大会サイト([http://www.j-sla.org/event/第 18 回年次大会-j-sla2018/](http://www.j-sla.org/event/第18回年次大会-j-sla2018/))を経て、以下のファイルをご覧ください。

[http://www.j-sla.org/wordpress/wp-content/uploads/JSLA2018\\_CallForPapers\\_Japanese\\_2nd.pdf](http://www.j-sla.org/wordpress/wp-content/uploads/JSLA2018_CallForPapers_Japanese_2nd.pdf)

皆様のご応募をお待ちしております。

＊年次大会および研究発表に関してのお問い合わせは、以下のメールアドレスまでお願いします。

J-SLA 事務局 柴田美紀 shibatam@hiroshima-u.ac.jp

-----  
ニュース・レター及び J-SLA に関する問合せ：柴田美紀 shibatam@hiroshima-u.ac.jp